

## 田中鮎夢を指導教員として希望する大学院生への連絡

私が専門とする国際経済学・文化経済学・自然災害の経済学など応用ミクロ経済学の実証研究には、ミクロ経済学の知識に加えて、計量経済学の知識と Stata もしくは R のプログラミング技術が必要です。また、論文の執筆には LaTeX の知識が必要となります。

そのため、田中鮎夢を指導教員として希望する学生は、修士 1 年の履修/学習計画において、以下の点に留意してください。

1. 当該授業科目の担当教員の承認を得て、経済学専攻で開講されている以下の科目を修士 1 年前期のうちに履修することを推奨します。
  - 「統計学研究/演習 I」 (前期) 2 単位
  - 「計量経済学研究/演習 I」 (前期) 2 単位

なお、「他研究科・他専攻の授業科目については、当該授業科目の担当教員の承認があれば 10 単位以内に限り修了要件単位として認める」 こととなっています (大学院要覧)。

2. 入学前に Stata もしくは R の学習を開始することを推奨します。Overleaf のアカウントを取得し、LaTeX の練習を開始することも有益です。教員の HP に関連情報を掲載しています。
3. 実証研究には非常に時間がかかります。早期に研究の相談を開始することで計画的に研究を実施できます。データの利用可能性・研究デザインを吟味し、研究計画の変更が必要となる場合があります。単位は取得できませんが、修士 1 年の前期火曜 3 限「グローバル経済論演習」に出席するとともに、ご自身のお名前と確実に連絡が取れるメールアドレスを早めに教員へ連絡するようにして下さい。メールを適宜確認し、返信するように注意して下さい。

田中鮎夢

E-mail: [ayumu@aoyamagakuin.jp](mailto:ayumu@aoyamagakuin.jp)